

## ★ 川本法の標本作製

【川本法】とは、川本忠文博士（鶴見大学歯学部 RI 研究センター）によって開発実用化された「凍結切片」の作製方法です。



「川本法」は、以下のような特徴があると報告されています。

- ・形態を正確に保ち、さらに生体内情報を正確に保持していることから形態学的研究、組織化学的研究、遺伝子組織化学的研究、生化学的研究等へ利用でき、多くの研究に利用可能
- ・熟練技術を要する「骨」「軟骨」「皮膚」「眼球」「植物」「昆虫」等の標本作製が安定して実施可能となる。
- ・組織内の酵素活性が維持された標本作製が可能（骨などの硬組織は通常「脱灰操作」を実施して標本作製を行うために酵素が失活してしまいます）

詳細な情報は、ウェブサイトから「川本法 Section-lab」と検索して確認をお願いします。

当面は、一定の実験動物に限定したサービスとなりますが、今後「川本法」の特徴を活かした受託サービスを拡大する予定です。皆様からのご要望等があれば問い合わせいただければと思います。

【受託条件】・凍結生組織（下記製法でのブロックでの受け入れ）のみ受託可能

- ・動物種：マウス、ラット
- ・組織の大きさ：3cm × 2cm 以内

【サンプルの前処理～凍結ブロック作製と輸送条件】

- ・委託側は、川本法の「新多目的凍結切片作製キット」<sup>\*1</sup>を購入してください。
  - ▷「スターターキット」内の作製手順に従い凍結ブロックを作製・保存ください（当社からの技術指導はいたしかねます）
  - ▷凍結ブロックは密閉容器に入れ、ドライアイスを入れた超低温（凍結）条件で当社に輸送ください。
  - ▷凍結ブロックの輸送は事前に到着日時をご連絡の上、発送から 24 時間以内に当社に到着で手配ください。

【染色メニュー】 以下 4 種類

- ・ HE 染色
- ・ ALP 染色（単染色）・・・骨芽細胞
- ・ TRAP 染色（単染色）・・・破骨細胞
- ・ TB 染色・・・・・・・・・・軟骨

【注意事項】 川本法の標本では当社のバーチャルスライドの取り込みはお受け出来ません。当社のバーチャルスライド装置は特殊仕様であり、川本法のフィルム+薄切組織+封入を含めた通常標本より厚いため装置上の制限があることご了解ください。

※ 1：販売；ライカマイクロシステムズ株式会社

# 株式会社 新組織科学研究所

<http://www.hslabo.co.jp/>

ご注意：

本案内のサービスおよび装置仕様は、サービス受託の際に変更される場合があります。

詳しくは、お問い合わせいただくか、当社 HP 情報にてご確認ください。

2017年9月